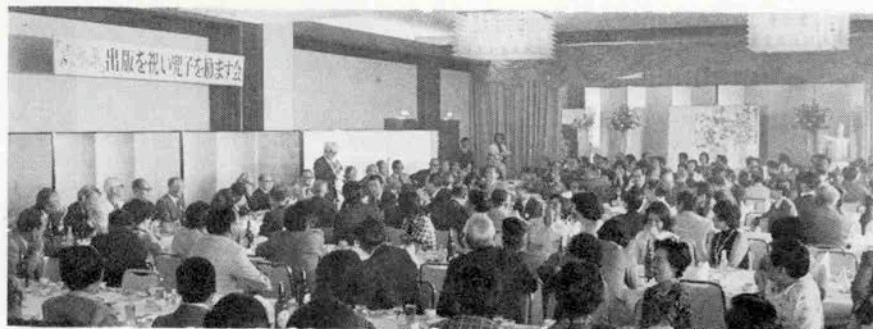




竹内 実

（京大人文科学研究所教授）

赤尾兜子「歳華集」出版記念会



「赤尾兜子は特殊児童」などとスピーチする司馬遼太郎氏

会場の生田神社会館は、わたしはじめてであった。すでに講演は終りにちかく、廊下にあふれるひとひとの肩のあいだから、うつむいて講師のことばに耳を傾けている赤尾兜子の顔が望まれた。

わたしのところから見える、演壇のうしろわきに、銀の地に墨で書かれた「大雷雨鬱王」と会うあさの夢。ただし、「あさの夢」はひとの頭に邪魔されて、みえない。

下の階へおりて、展示をみた。表装もよい、「花から雪へ砧うち合う境なし」が、「大雷雨」の字がおしゃい、せめぎあう感じであつたのとあわせて、印象に残つた。

祝宴がはじまつた。席が廊下にまではみだしている。盛會だった。

はじめりの、富田碎花氏が、わざわざ中國語を使われての、カンペイ（乾杯）！ 赤尾恵以夫人のピアノ伴奏による今井勲子氏の独唱が、お祝いの幕あきの気分をも

りあげた。奈良本辰也氏の開会の辞につづく、司馬遼太郎氏をはじめとする諸氏のスピーチは、いかにも、赤尾兜子の文学的経歴と達成にふさわしいものであつた。わたしは、京大時代、かれが俳句の道へ踏みだす決意を語つたときのことを想起し、諸氏のスピーチがまた、それをうけることのできる赤尾兜子のこんにちの位置が、心からうれしかつた。さらには、会に参集された、ひとりひとりが、ありがたいことに思われたのである。

それだけに、赤尾兜子が、謝辞をのべるために起ちあがつたときは、いくらか、心配だったのである。これだけの祝賀と裏辞に、どのように答えることが、できるのか、と。

しかし、それは杞憂だった。盛大な会をみごとにしめくくつたものだつた。圧倒的、とさえわたしは思ったのである。

かれは、伊勢神宮の杉木立をす



生田神社、門の前で赤尾兜子氏を囲んで。向って前列右から吉岡実、小野十三郎、富田碎花、司馬連太郎、赤尾兜子（子息）、陳舜臣、大岡信、高柳重信、永田耕衣、二列目右から津高和一、滝野喜代子、須田剋太、梅原猛、吉田弥寿夫、高安国世、依田義賢、末次撰子、奈良本辰也、福田義文、加藤隆久、足立巻一、和田悟朗、三、四列目、大岡信夫人、田辺聖子、平川一義、三枝和子、久我五千男、榊莫山、中西勝、白川渥、鈴木六林男、竹中郁、堀葦男、赤尾龍治、相浦景、林田紀音夫、安田章生、木村重信、中村苑子、春木一夫、後列、伊田耕三、岩宮武二、小泉康夫、佐藤廉、野木良郎の皆さん。

かしてあおいだ夜空の星を語り、それと対比した自己を地上の点として自覚した、体験を語った。それは、宗教的な、特別な境地ともいうべきものであるが、赤尾兜子は、そこから新しい一步をさらに踏みだそうとしているのだった。

はりつめた心をもつ人間が友人のなかにいる。わたしはこのことを強く意識したのである。

閉会の辞は、須田剋太氏だった。学生時代、すでに同氏の名を赤尾兜子から聞いていたのであるが、奇縁というべきか、それから数日して、わたしの勤め先の京大人文学研究研究所に、同氏の絵が寄贈されたことを知ったわけである。

わたしは、神戸には、地縁も人縁もない。

それで、わたしとしては、やや、よそよその感じがなくもなかつたが、会をとおして、新しい友人をえたし、東京では、ほとんど会えなかつた旧友とも懇談することができた。

赤尾兜子の人徳、あるいは、芸術の徳というべきであろう。「渢」の諸氏にも、感謝した



鎌田糸平

〈糸平主人〉

「あきないと禅」出版記念会 中内功

〈対談〉



山田無文老師と中内ダイエー社長を囲んでのパーティから

「山田無文老師の禅の心」と創業十五年で小売業日本一を記録した、スーパー・ダイエー中内社長の、「あきないと禅」対談集が東京、春秋社から出版された。

編集者、河合三氏と、関係の深い神戸ライオンズクラブが世話人となつて、六月三十日、神戸生田神社会館で出版会が行なわれた。この会の参会者は三百数十人の盛況で会場がうづめつくされた。

京都花園大学、一灯園、東京から春秋社を来賓として各界の人々が、無文老師の講話を聞きに参会されてアメリカ領事などの外人を加えてすこぶる多種多様な出版記念会となつた。午後六時編集者河合三氏の挨拶、須磨琴保存会、一絃琴の演奏（千鳥の曲）御殿舞、小寺一道師匠の新内（志賀の里）と、ともに美事なものであった。

無文老師の講話は、菩提心を起こすこと、菩提心とは、自己を忘れる事、剣道も弓道も茶道も、総て道のつくものは、相手にとら



終始にこやかな山田無文老師（右）現代の風雲児中内ダイエー社長

わかない無念無想の境地になり切ること、自我を捨てたならば外界はそのまま映る、鏡のような心、花の美しさに見とれて自分を忘れる。こういうところに、伝統的な日本人の習性がある、仕事に打ち込んで自己を忘れる。達磨大師は「結果自然に成る」ということをいわれている。物の結果というものは自然なんで、最高に努力しなくてはならんが、努力したあとは自然にまかさなくては仕方がない。

一華五葉を開く結果自然に成るで、花は咲かさなくてはならんが実がなるかならんかは自然にまかせるより仕方がない。人間の力ではどうすることもできないという諦観、あきらめが必要だと思いますと説く。また社長と社員でなくて、社長の社員であり、社員の“社長であることに”と“の”意味を大変強調して語られた。

中内社長の講演は創業以来十八年、出発が正しかったといわれるよう、一途に事業を築き上げてここに到つて、無文老師に逢うことによって、あきらないの哲学がそのまま禪の哲学によつて機縁を發し、客の心になつた社会とダイエーの経営に、大きくいえば、主觀と客觀の世界に大きく問題を發展させて研鑽することにあると語られた。



動物園飼育日記——110——

赤ん坊アシカは泳げない



ないしょ話シリーズ(32)

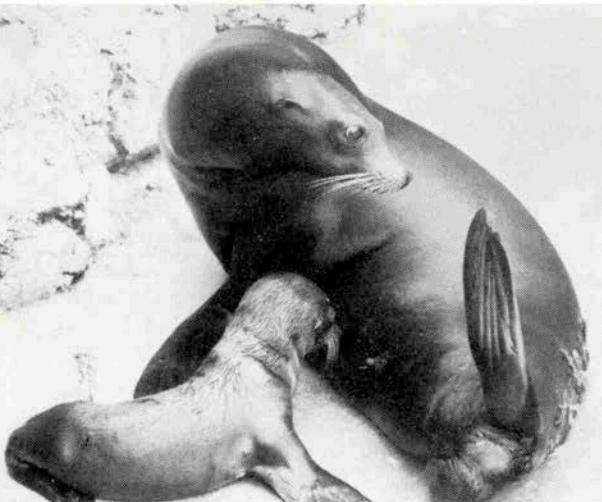
赤ん坊アシカは泳げない

「カバの赤ん坊は泳げない。おぼれ死ぬので母親は陸地でお産します」。

さる日、動物家族ものシリーズのテレビで、こんな解説を耳にして、これは「おかしいぞ！」と思つたことがある。もし、このフィルムを見て、ほんとにカバの赤ん坊はおぼれ死ぬ、そう思いこまれてはまことにおかしいからだ。

別にケチをつけるわけではないが、やはり、ある学童が「カバの赤ん坊はよう泳げへん、おぼれるんや」と、さも知つた顔してしゃべつているのを耳にしたこともあり、私の体験的見解をのべたくなつてしまつた。

戦後、わが国の動物園だけでも50例ものカバ出産例が記録されている。神戸でも9産を見ているが、そのほとんどが水中で子を産んでおり、たとえ陸地や浅瀬で分娩



たくさんお飲み。赤ん坊アシカに乳をふくませる母親

しても、親は子を水中につき落してしまう例が多い。しかも、子の発育状況からみて充分泳げる能力を備えており、むしろ体重の負担からいえば、新生時の陸での歩行の方がヨタヨタする。それにまた、カバ新生児の死亡例を見ても、生後3日頃の死亡がほとんどで、その死因は親の授乳拒否によるものばかり。死産例はあっても、出生直後の溺死例は一例も報告を見ていない。

潜水に際して、耳はうしろにねかせてふたをし、鼻を閉じて潜るという機能は出生時からもつてゐる。浅瀬で赤ん坊を休ませることはあつても、陸地での哺乳はきわめて少なく、ほとんど見ない。母カバは水中に横たわつて哺乳姿勢をとると、子カバは、すーと潜つて乳を飲む。つまりカバは「潜水哺乳」で育つのである。ところがである。おもしろいことに、海獣であり、あのすばらしい泳法を見せるアシカの赤ん坊は、水を嫌い拒否する。しかも発育経過をよく見守つてやらないと、下手にはまりこむと、あわれにもおぼれ死ぬのである。

□神戸初のアシカ誕生す

毎年梅雨時になると、あれだけ喰つてたアシカがきわだつて食欲をなくし、陸にあがりこんでしまう。時には「アシカが死んでる」と急な報せに行つてみると、だらり、ヒレいや、手足をのばしたまま、水に沈んではまた浮かんでくる。このアシカの「水中ひる寝」に、あつきとつた！で幕になるアシカ池珍騒動の季節である。

実は、この食欲をなくす季節こそが、回遊する彼等が島にあがりこむとき、つまり彼等の繁殖期だつた。そのサイクルは一年周期、6月に交尾をうけ、懷妊期間11ヶ月ののち、つまり毎年5月、どのメスもいつせいにお産するのだ。

その日、昭和50年6月14、15の両日、2頭のアシカが相次いでお産した。二七三日前から食欲があれへん、なんかおかしい！とは思つていたものの、どうせ例年のこ

と、つゆ明けには元気になるはずと、たかをくくついていた我々に歎声があがつた。

繁殖にそなえ、陸地には岩穴式の隠れ部屋を設けていたが、やはり、そこに閉じこもったメスが、確かに小さなかたまりを隠すように横たわっていたからだつた。

生後2日 まだ、子の姿をはつきり見ることができない。

双眼鏡でやつとのこと、"生きている"ことは確認でいたものの、時折り奥深く岩穴のかけに消えてしまい、やきもきさせる終日をすごした。

生後3日の朝 エサにも出なかつたメス親。投げこんだアジにさそわれ、とび出たと思う一瞬、あつといふまことに十数匹のアジを口に、またぞろ岩穴におどりこんでしまつた。その間、僅か20秒たらず。

生後4日 子の視力と体力が増したことからだらう。

◀おぞるおぞる、水に頭を沈める生後10日

◀しっかり母さんがついているんだから (生後15日)

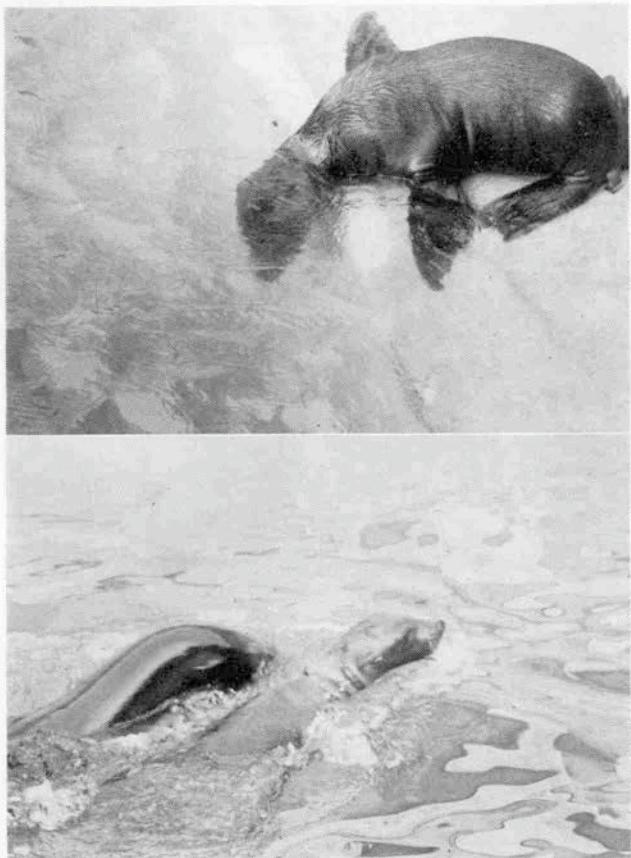
明るさにさそられるように子がはじめて姿を見させてくれた。前半身を横に、尾と腹部は仰向けるという、うまく身体をくねらせた格好で子に乳を飲ませるうるわしい母親。よく見ると下半身に4個の乳頭がとびでており、乳がにじみ出ている。親はぐるりと寝返つては、左右の乳のみ分けをさそつていた。

生後7日 溺死寸前のその日

さて、やはりアシカの赤ん坊は、カバのようには、すぐさま泳がない。いや親が決して水辺に近づけないのである。だが、生後一週間めの朝。明るい陽さしと水辺にさそわれはじめたその子、あつと思うまに足を滑らせドブーン。深みに落ちこんだ。さつと寄つてきた親。首すじをくわえひきあげようと必死のようす。だが、折悪く水替えどきとあって水量少なく親はとびあがれても子をひきあげること、どうしても無理、僅か3分でその子は死にものぐるいのバタフライ泳法。その疲労に赤ん坊アシカは弱りきり、ようやくサルトリ網でくいあげて命はとりとめた。

だがその彼等も(生後15日)には自からブルーにとびこみはじめ、「生後22日」、ようやく本格的な潜水泳法を我々に披露はじめた。と同じ頃、メス親たちはオスの授精を受ける日を迎えたのである。

（王子動物園学芸員／写真も）



インテリア
総合商社 **キング
アドバンス**

お問合せ ☎231-6450



●インテリアデコレーションのバイオニア
KING ADVANCE c/o

本社 〒650 神戸市生田区中山通1丁目39

Tel (078)231-6450(代)・5026

工場 〒652 神戸市兵庫区雪の御所町67

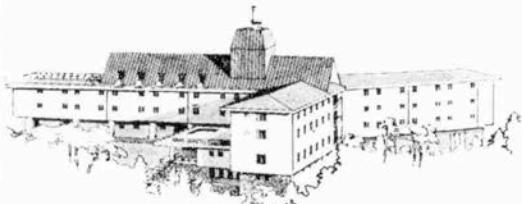
Tel (078)531-6816

●ご予算に合せた設計施工をお気軽にご下命ください

●インテリア
コーナーくじ
RURI
設計施工
キングアドバンス 大原 實

夏……野性味あふれる屋外パーティ **ジンギスカン料理**

100万弗の夜景を見ながら
神戸ビーフ、鮮魚をお楽しみ下さい



六甲オリエンタルホテル
灘区六甲山上 ☎078-891-0333

8月1日 堂々オープン！

神戸国際ホテル7階に
総合結婚センター〈レモンクラブ〉
がオープンしました。
結婚を希望される方は是非お立寄り下さい。

レモンクラブ

結婚プロデューサー 山下駿児

神戸国際ホテル 725号室

TEL 078(252)1200 (直通)

TEL 078(221)8051 (内線725)

後援／月刊「神戸っ子」編集部

風格・歴史・誇り



「個性」と「一流」を
縫いあげる

金 柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 TEL 341-0693
大阪・高麗橋2丁目 TEL 231-2106



きものと細貨
ちんざら庵

神戸

西店/三宮センター街・電話 331-8836(代)

東店/三宮センター街・電話 331-0629

三宮店/さんちかタウン・電話 391-4303

東京

銀座コア店/4階着物コア・電話 573-5298(代)

渋谷東急店/5階和装名家街・電話 477-3409(直)

日本橋東急店/4階和装名家街・電話 211-0511(代)

(内線294)

池袋パルコ店/4階着物小路・電話 987-0561(直)

中水道

諸岡博熊

（神戸市企画局参事）

上水道、下水道に対して、飲用にならないが一般雑用に使用できる水道を中水道といふ。

生活水準の向上や都市活動の高化、さらには都市の拡大などの要因で水の需要は加速度的に増大している。このためには新規水源の開発確保ということになるが、早急な水需要の増大には対応できないし、別途の水源確保にも限界があるといわれる。

その結果、増大する水需要のうち、飲用以外の雑用水について、下水の処理水の再生利用を充当する計画が中水道計画である。

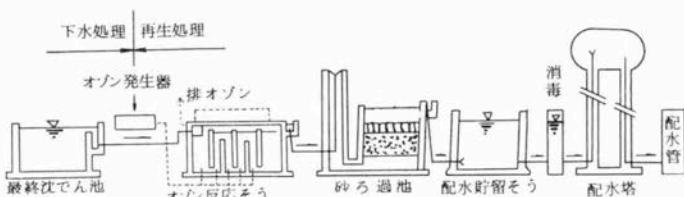
神戸市では、現在埋め立て中のポートアイランドで、雑用水をこの中水道——下水処理水を水源とする構想をもつてゐる。そのため、鉢蘭台下水処理場内に実験プラントを設置して開発研究に当つている。下の写真は、中水道実験プラントの全景である。

中水道は下水処理水を再生利用



◆神戸市水道局の実験プラント
(鉢蘭台下水処理場所)

▼下水道の再生処理の概念図



循環利用すると、水域からの取水

量が減少し同時に、都市排水が少なくなるため環境への影響が軽減され、したがって、環境の保全に役立つという理由による。

すなわち、下水処理場の最終処理の沈澱池から放流する処理水を中水道処理場が受け入れる。この下水処理水をオゾン反応槽と砂濾過池を経て、PH、COD、SS、NH₄IN、ABS、硬度、透明度、臭気などオゾン酸化と濾過によって、雑用系の用途に使用できる水に再生・浄化する。最終的に配水する際に塩素滅菌をする。

こうみてくると非常に結構づくめであるが、給水の単価と配管を別途に行う設備費との具合によつて普及上の問題点がある。このために、低料金で給水のできるよう財政上の問題とか、使用者側の屋内二重配管設備費の補助などが考えられる。

しかしながら、中水道普及の大きな問題点は、根柢となるべき法律が不備のため所管省が決定しないことだろう。したがつて、技術基準すら樹立されない。早急な制度の確立が望まれる。

神戸のアーバンデザイン

『同業者町シリーズ』

(8)

中央市場周辺の食品業

水谷頼介+チーム・UR

(9)



個人経営の食品業



■中央市場のあたりというの、喰いしん坊にとって魅力のある場所です。おいしくて安いおもし屋さんがあるとか、安くて量のたっぷりしたラーメンが食べられるとか、いろいろな噂にひかれるところです。そこで、わざわざ徹底して朝早く出かけていって、日頃見られない早朝の熱氣のある市場や買出しの人々の仕事ぶりに感激し、かつお腹をふくらませて帰ってくると、それがまた自慢の体験になって次の噂を呼ぶ、ということになります。こういった直接の喰いしん坊にとってだけではなく、なにしろ新鮮な食料品が山と出入りする市場は都心のショッピングセンターとはちがった都市のもう一つの花形であることは確かです。

■パリのレアール、ロンドンのコベント・ガーデン、ともに観光客にとっても是非覗きたい名所です。立派な鉄骨の芸術的屋根の下にぶらさがっている血のしたたる牛肉の大行列を見る楽しさも、もうその骨組みが破壊されてしまってパリから離れていってしまいました。新しい中央市場はオル

リー空港周辺のランギスに他のいろいろな流通センターとともに集中しています。ロンドンのコベント・ガーデンは、古い劇場を中心とした芸術センター、市場の建物を利用したショッピング広場への再開発区画がありますが、なかなか進行していません。

■兵庫の市場は、港にも近く、ロンドンやパリのように外へ持ち出す必要はないようです。むしろ都市のなかの魅力のある場所として、より活気ある集積を、ということでしょうか。

(水谷 頼介)

水谷頼介+チーム・UR
バス道沿いのタウンハウス
神戸のモダニリビング
タウンハウス⑧

99



1階は店、3階以上は住宅



■バスの通る広い幹線に面していて、この立地はまさにタウンハウスにぴったり、というところでしょうか。4階建、下にお店、上に3層の住宅が真中の階段室をはさんでいます。2階の住宅を利用して建築設計事務所が入っているようです。マンション・オフィスというところでしょうか。いまはまだお店は一軒だけで、他は利用されないで閉ったままですので、さびしい雰囲気です。

■立地としてはピッタリといっても、現在の周辺

の状況はそういうわけではないというのがお店に入り手がない原因でしょう。周辺はこんなにたくさん車が走り、町なか的環境になってしま以前からの生垣の立派な落ち着いた住宅地です。また前の道路とて、幹線ではあるが、歩道がせまく落着いて歩く気にはなれない通りです。

■お店と住宅というこの建物の構成はまさにタウンハウス的典型とみたものの、すまいとお店は直接は関係なく、ただ積み重ねただけ、いわゆる足貸しフラットですので、それぞれ規模が小さく機能的実質感が弱く、それがこの敷地に対してこの建築物がその存在性と主体性、また協調性を発揮しない原因だととも考えられます。規模が大きくなってしまって、その経営的とり組みには努力がいりますが、むしろ1～4階までも一つのユニットにして下にお店、オフィス、アトリエ、上に住まいといったタウンハウス本来の住職共有のかたちにした方がよかったのではないかと思われます。

(水谷 頼介)

里親をさがして14年

橋本 明

（社団法人「家庭養護促進協会」事務局長）

里親になるためには？



神戸の乳児院で里親に委託される子供を取材中

神戸新聞の「あなたの愛の手を」欄をみたり、ラジオ関西の「里親さがしの時間」を聴いた人たちから「子どもさんをあずかって育てたいんですけど、どうしたらいいんでしようか。何か資格がいるんでしようか？」といふ問い合わせを毎週受ける。里親になるためには特別な条件や資格といったものは別に必要ではないが、しかし誰でも

がかなならずしも里親になれるわけでもない。家庭が壊れ、親から離れて暮さざるを得ない他人の子どもを引き取つて育てるということは自分の生んだ子どもを育てるのとは多少条件や育てる側の気持が違つてくるのは当然の事である。子どもを育てる、ということ自体は自分の事である。子どもを育てる、ということ自体は自分の

子どもであつても他人の子どもであつても全く同じことなのだ。里親・里子の結びつきとうのは、養子縁組をするのでなければ一時的な仮の親子関係であり、実の親が子どもを引き取れるようになれば里親子の関係は切れてしまうことになる。実の親が引きとれなくて委託がかなり長期にわたる場合でも、里親・里子というのはあくまで仮の親子関係であり、年長児をあずかった場合、この他人同士の親子関係がしつくりいかず、これに実の親が絡んでくると子どもも里親も混乱をきたす場合が少ないと。里親になるための資格や条件は特別ではない、とのべたが、こうした特殊な里親子の関係を維持しながら他人の子どもを育てていくためには、やはり円満な夫婦で、家族みんなが子どもを迎えることに積極的で、多少のトラブルは力を合わせ乗り越えていくだけの生活の幅の広さをもつた家庭が望ましいということになるだろう。もちろん委託する子どもの年令や性格、生育歴などによつて、受け入れ側の家庭の条件も変つてくるので一概に決つた里親家庭のパターンはなく、ケースバイケースでその子どもに一番適当と思われる家庭をその都度求めることが必要となる。

さて、ここで私達の協会が毎週里親家庭をさがしている方法を具体的にのべてみよう。

まず、水曜日か木曜日ぐらいに次の週に神戸新聞の「愛の手」欄に掲載する子どものケース記録を見童相談所から受けとつて、あらかじめ取材する子どものケースの概略をまとめておく。担当の新聞記者及びカーメラマンと取材の日時や場所、取材方法などを打合わせる。毎週



申し込み者の整理に忙しい協会のケースワーカー

さく

金曜日に、児童相談所の担当ワーカー

、記者、カメラマン、協会ワーカーが施設へ出かけ、施設職員を交えて四者で子どもたちの取材をする。施設で取材をした後、協会の担当ワーカーはラジオ関西のスタジオに入り、その子どもの写真と生育歴、性格などの記事が掲載される。その状況を録音する。

このテープは日曜日の朝七時三十五分からの「里親さがしの時間」で放送され、さらに二日後の火曜日朝刊「あなたの愛の手を」の欄に取材された子どもの写真と生育歴、性格などの記事が掲載される。その子どもについてはその週いっぱい申し込みを受けつけた後、家庭調査を行い、適任者がいれば調査結果をまとめて児童相談所に推薦する。さらに里親審議会で承認を得れば里親として登録され、子どもが委託されることになる。

子どもが新聞に掲載されてから実際に委託されるまでには普通數カ月かかる。子どもの状態や申し込み者数によると、協会の四人の職員では数多くの申し込み者の家庭調査だけでもなかなか大変な大仕事だし、一人一人の子どもの人生を大きく左右する役割をなつてゐるだけに適任者の推薦には慎重をきせざるをえない。

子どもを新しい里親家庭に委託すると、里親は月額約一万八千円の生活費と里親手当四千円が国費で負担され他にも医療費、給食費、交通費などが支給される。

養子縁組の場合は子どもをあずかってから半年ないし一年を経た後、里親が家庭裁判所に縁組を申請し、親権者の同意が得られれば縁組が許可される。養子縁組をし

て打切られる。

協会では里親に子どもを委託すると、その子どもが新しい家庭で健やかに育つているかどうかを見るために定期的に家庭訪問を行い、もしうまく順応できないようならば、それがどこに問題があり、どうしたら解決できるかを里親と里子の間に立つて調整し、里親と力を合わせて子どもを育していく努力をたえずしなければならない。また一方では子どもが一日でも早く実の親といつぱり暮せるように実親の家庭の立てなおしもやっていかなければならない。里親・里子・実親の組み合わせや、そこから生ずるさまざまな問題は一つとして同じものはなく、それぞれ異なる背景や、さまざまの立場にある人間の心理が錯綜しているだけに、里親ワーカーの仕事というものは非常に難しく、深い洞察力や広い知識、熟練した技術がたえず要求されてくる。

愛の手運動が開始されてから今年すでに14年めになるが、この運動を通して里親家庭に迎えられていく子どもたちの数は千人を越えている。14年といえば、委託された当時生まれたばかりの赤ちゃんでもすでに中学二年生になつてゐるはず。なかには義務教育を終えて社会に出、一人前の立派な社会人として働いている青年もあるし、結婚して幸せな家庭を築いている人も何人かいる。愛の手運動の歩みは、子どもたちと、それを取り組む里親家庭のそれぞれの人生の歩みでもある。それだけに、子どもが成長するにつれて新たな問題もまた起つてくるだろう。愛の手運動の難しさと、その成果が問われるのはむしろこれからといえるだろう。

（つづく）

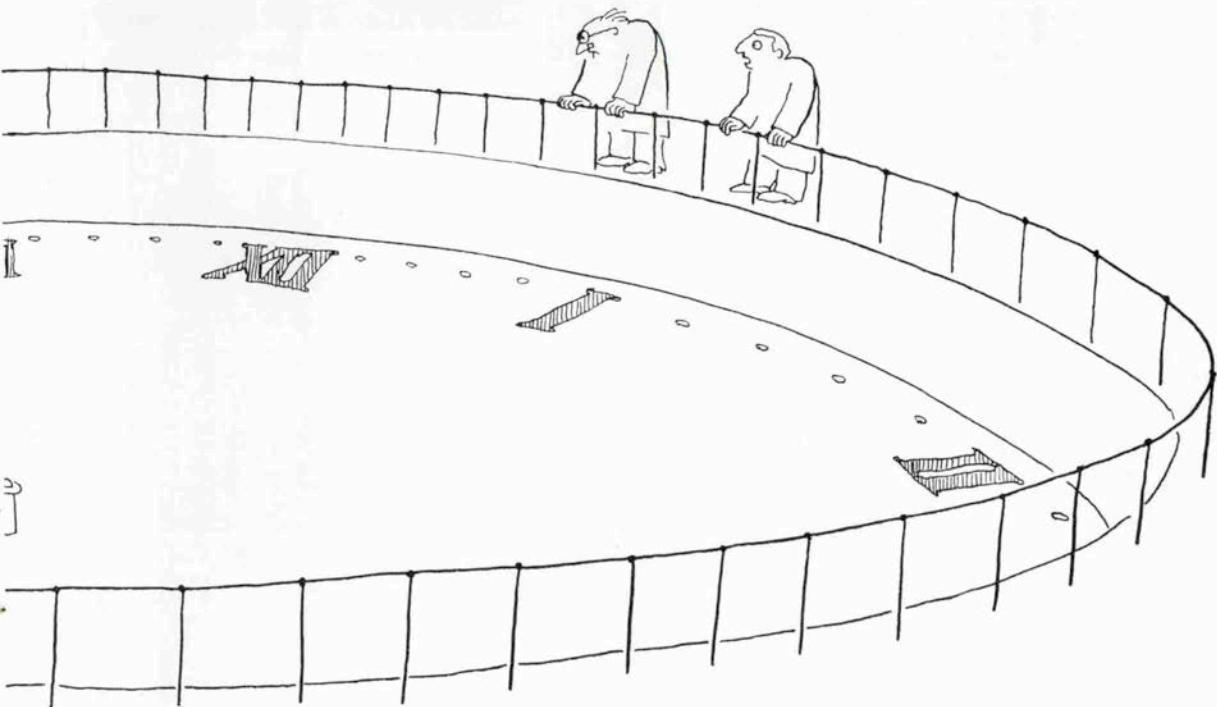
里親開拓運動をすすめている協会の機關紙「育てる」がでました。この運動をもう一度読んでみてください。ご希望の方は左記へお申し込みください。送料とも一部10円。

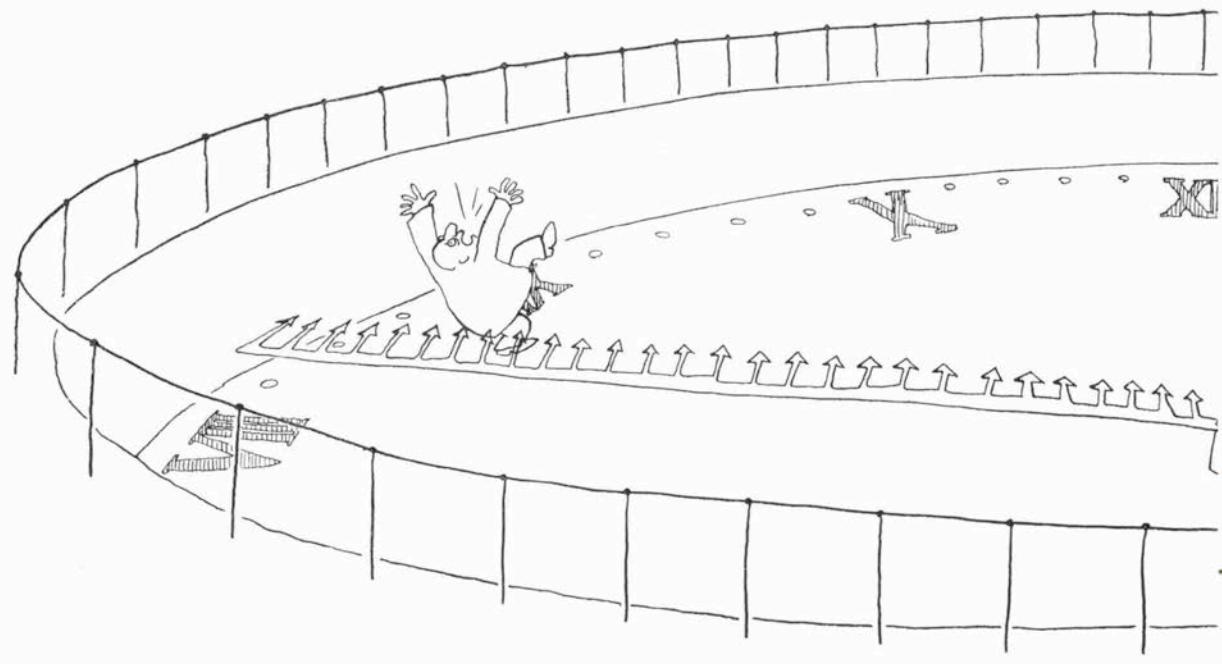
神戸市生田区櫛通三丁目一番地
総合福祉センター二階
社団法人 家庭養護促進協会
TEL 三四一—五〇四六



——時間を守らない奴をこらしめる装置 — 岡田 淳 —

——でも教授
何か身につまされますね





—Tess—